



# よこぼり喜一郎通信

● 発行者／横堀喜一郎 〒297-0074 茂原市小林1978 TEL.0475-26-0015 FAX.0475-24-3496

## プロフィール

1959年12月 茂原市生まれ  
 茂原小学校、茂原中学校卒業  
 1978年 3月 長生高校卒業  
 1982年 3月 一橋大学法学部卒業 味の素 入社  
 1992年11月 横堀本店入社 現在に至る  
 2007年 4月 千葉県議会議員選挙当選  
 現在 文教委員、民主党第11区総支部  
 幹事長、茂原市青少年相談員、  
 茂原市体育指導委員  
 趣 味 早期ランニング  
 献血 現在122回 目標200回

## 本年2月度議会において横堀喜一郎は登壇。 医療問題・水道料金の格差問題・圏央道に関し質問。 県執行部に速やかな政策の実施を訴える。

### 1 医療問題—東金九十九里医療センター(救急救命センター)について

東金九十九里医療センターは、東金市と九十九里町、一市一町が設立し一般地方独立行政法人が運営する計画が策定されたと聞きます。この計画については地元東金市や九十九里町の住民だけでなく、私の地元茂原市からさえ収支計画について疑問の声が上がっています。過大な収支予想を立てて、大きな設備投資を行い、事業を開始したら赤字の連続、挙句の果てには倒産という、同じ過ちを犯してはなりません。

そこで1点目の質問です。東金九十九里医療センターの収支計画は過大な収支見込みにはなっていないか？

2点目として、東金九十九里医療センターが開設後に単年度事業収支に赤字が生じた場合は東金市、九十九里町以外の市町村と費用分担の可能性が考えられる。その場合の県の更なる補助は考えられるのか？

これに対する県の回答は、1については東金市、九十九里町が専門家に委託研究して出した結果で妥当な収支見込である。

2については赤字が出ない様適切な指導をしていく。との事です。

下記の資料は担当課より入手した九十九里地域医療センターの収支計画です。この計画は、千葉県のアドバイスによって作られました。作成の主体は東金市、九十九里町の一市一町で両自治体が責任をもつ資料と聞きます。しかし、数値を見てみると素人の私でも疑問に感じる点が多々あります。(参考として、同規模類似病院として国立南和歌山医療センターと国立浜田医療センターのデータが記されています。)

#### ●要望

私は山武・長生・夷隅保険医療圏に救急救命センターの必要性を強く感じています。是非ともこの計画は失敗させてはならないと思っています。だからこそ、事業計画にたいして厳しい見方をしなければなりません。医師の確保は確実なのか、収入を過大に見積もっていないか、設備投資が大きすぎないか等々しっかりと確実な数字を確認する必要があります。千葉県は東金市、九十九里町に対し指導的立場でこの計画をお手伝いする事をお願いいたします。

### ●救命救急センターを有する病院の経営指標 (平成19年度)

	県外(国立病院機構)			県内(公立病院)			
	東金九十九里地域医療センター	南和歌山医療センター	浜田医療センター	船橋市立医療センター	国保松戸市立病院	国保旭中央病院	君津中央病院
診療科	22	19	22	17	21	25	24
病床数(床)	314	316	354	426	613	956	651
うち救命救急センター	20	14	10	43	30	30	34
医師数(人)	56	37	40	94	134	252	89
看護師数(人)	286	207	205	359	545	925	504
病床利用率(%)	85.0	86.5	88.0	85.8	78.5	90.8	85.5
看護体制	7:1	10:1	10:1	10:1	10:1	10:1	7:1
1日当たり入院患者数(人)	265	273	312	366	481	868	555
1日当たり外来患者数(人)	770	472	491	983	1,148	3,507	1,365
入院患者単価(円)	45,000	41,858	41,805	50,152	45,495	42,594	47,165
外来患者単価(円)	10,000	8,697	9,012	10,484	10,774	14,819	8,854

3月1日(月) (民主党) 横堀喜一郎議員質疑並びに一般質問 配布資料

### 2 県内水道料金の格差是正について

県内人口の約半分に対して給水事業を行う県営水道と茂原市を含む九十九里地域水道企業団、南房総広域水道企業団のあいだには大きな料金格差があります。

県営水道は千葉県が経営し、千葉市、船橋市、市川市等11市の住民に対し直接、上水道を供給します。其れに対し茂原市では、九十九里水道企業団から利根川の水を仕入れて長生郡市広域組合が住民に給水を行っています。

九十九里地区、南房総地区には安定した水源となるべき河川や湖がありません。その為、利根川に水源を求めなければなりません。下記の図-1に示すように、水は香取市の取水口から大多喜浄水場まで距離にして約100km、標高差にして約100mもの房総導水路を通ってきます。この房総導水路を維持・運営する事に多大な経費がかかる事は理解できます。しかし、受益者負担という名の下に、人が生活する為に最も必要とされる水の値段が県内で2倍3倍する事が許されるのでしょうか？

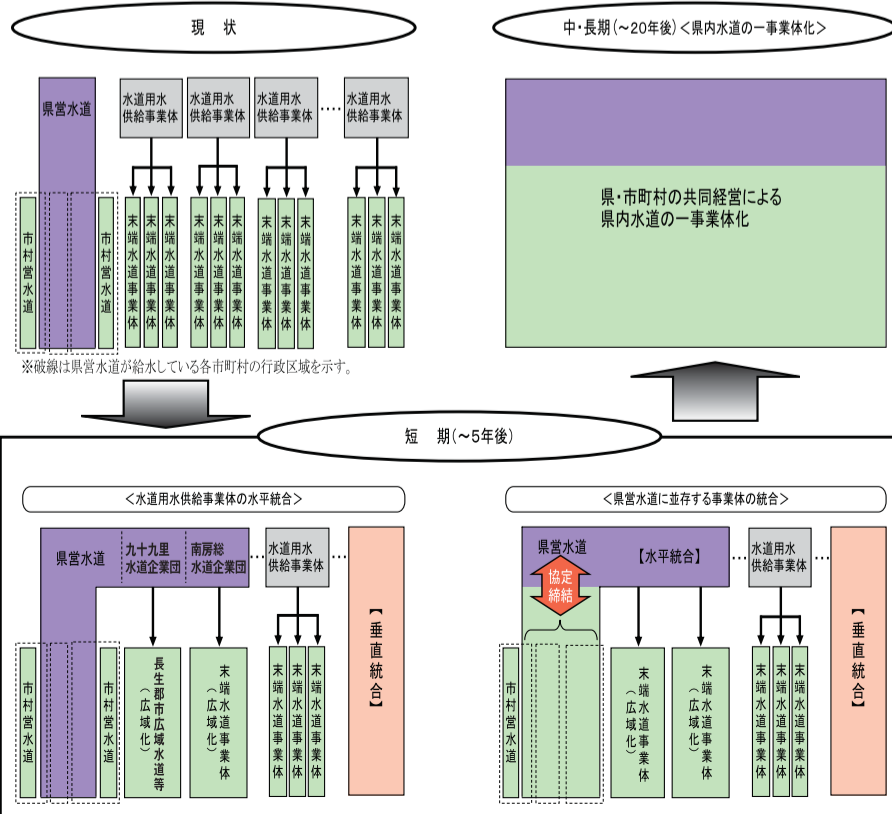
この水道料金格差是正に対する県の回答は、平成24年度を目途に県営水道と九十九里・南房総水道企業団を水平統合し、当面は従前の事業体単位で料金を設定するが将来的には県内同一料金となるよう目指したい、と答弁。(下記の図-2参照。)

直ぐに水道料金が下がる訳ではありませんが、将来県内統一料金を認めさせた事に意義があります。

#### ●県内水道料金格差

	月10トン使用	月25トン使用	備考
千葉県水道	998円	3,854円	水道管13mmとして
茂原市	1,796円	4,814円	
勝浦市	2,331円	6,688円	県内最高値
八千代市	934円	2,483円	水道管13mmとして、県内最安値

### 図-2 県内水道の統合・広域化の手順(イメージ)



### 図-1 房総導水路について

